

横浜南西地域
普通科
（旭高校・横浜旭陵高校）
設置計画

令和8年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 旭高等学校 横浜旭陵高等学校
- (2) 位置 旭高等学校敷地（横浜市旭区下川井町2247）
- (3) 実施年度 令和9年度

2 設置の目的

- これまでの両校の教育活動を踏まえた地域における新たな高校として、幅広い地域資源を活用した様々な連携事業を実施し、より密接な地域連携活動を展開する。
- 横浜旭陵高校におけるICT利活用授業研究推進校としての取組みを新校の学びへ発展・継承させるとともに、生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた学力の向上を図り、学校全体の教育力の向上に取り組む。
- 両校のきめ細かな生徒支援を基盤とした自己管理能力や規範意識の育成に係る取組みを共有し、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育成する。

3 基本的コンセプト

- 学年制による全日制普通科の県立高校としての教育の展開
- これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育の展開
共通教科・科目を中心とした教育課程を編成し、基本的な知識・技能の習得と、主体的に学び、自ら課題を発見し解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また、知・徳・体のバランスのとれた教育を展開し、自ら設定した高い目標の実現に向かって積極的に行動する自立した人材の育成を図る。
- 「探究する力」の育成を通じたキャリア教育の推進
ICTを積極的に活用し、自ら課題を見出し他者と協働して解決する力「探究する力」を育成する。

○ 地域と連携・協働した教育活動の推進

これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させ、生徒の地域社会へ参画する意欲を高めるとともに、地域の教育力を活用した教育活動の推進を図り、学ぶことと社会とのつながりを実感できる、地域とともに歩む学校づくりを推進する。

○ 相互に人格を尊重し高め合う豊かな人間性の育成

共生社会の形成に向けて、障がい、性別、国籍、言語等あらゆる他者との違いを個性として尊重し、その多様性を認めるとともに、個性を互いにかし、ともに学ぶことができる、思いやりある豊かな人間性を育成する。

4 設置形態

- (1) 課程 全日制の課程
- (2) 学科 普通科
- (3) 学校規模 960名程度（各学年320名程度 8学級規模程度）
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
- (5) 学期 3学期制
- (6) 履修形態 共通教科の科目を中心とした必履修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉（予定）

	6校時時程（週5日）
ショートホームルーム	8：45～8：50
1校時	9：00～9：50
2校時	10：00～10：50
3校時	11：00～11：50
4校時	12：00～12：50
昼休み	12：50～13：35
5校時	13：35～14：25
6校時	14：35～15：25
ショートホームルーム	15：25～15：30
清掃	15：30～15：40

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本の方針
 - 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必履修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
 - 共通教科・科目を中心とした系統的な科目構成とし、生徒の多様な進路希望の実現に向け、生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた学力の向上を図る。
- (2) 教育展開の方針
 - 基礎的な科目や発展的な科目を設置し、学びの充実を図るとともに、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を展開し、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育成する。
 - 自己肯定感にあふれ、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様性を理解し、共生社会を推進できる持続可能な社会の創り手を育む。
 - 地域の教育力を活用した体験活動や異世代交流を推進するとともに、課題解決能力を育む。
- (3) 編成の方針
 - 生徒一人ひとりの興味・関心や進路実現に向けて、基礎的な科目から発展的な科目まで、幅広く設置する。
 - 基本的な知識・技能の習得と、主体的に学び、自ら課題を発見し解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図るための教育課程を編成する。
 - 総合的な探究の時間において、地域資源を活用した探究活動を取り入れ、生徒一人ひとりの進路実現に向けたキャリア教育の充実を図る教育課程を編成する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 学年	現代の国語②	言語文化②	歴史総合②	数学Ⅰ③	数学A②	化学基礎②	体育③	保健①	美術Ⅰ② / 音楽Ⅰ / 書道Ⅰ②	英語コミュニケーションⅠ③	論理・表現Ⅰ②	家庭基礎②	情報Ⅰ②	総合的な探究の時間①	LHR①															
2 学年	文学国語②	地理総合②	公共②	数学Ⅱ④	物理基礎②	生物基礎②	体育③	保健①	英語コミュニケーションⅡ③	論理・表現Ⅰ②	必修選択A③	必修選択B②	総合的な探究の時間①	LHR①																
3 学年	論理国語②	体育③	英語コミュニケーションⅢ③	論理・表現Ⅱ②	必修選択A③	必修選択B④	必修選択B【A帯】②	必修選択B【B帯】②	選択科目④⑩	総合的な探究の時間①	LHR①																			

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 2 学年必修選択A (3 単位)

日本史探究③、世界史探究③、化学③

◇ 2 学年必修選択B (2 単位)

古典探究②、数学B②、音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、書道Ⅱ②、[家] 服飾手芸②

◇ 3 学年必修選択A (3 単位)

地理探究③、日本史探究③、世界史探究③、数学Ⅰ③、数学Ⅲ③

◇ 3 学年必修選択B (4 単位)

物理④、化学④、生物④

◇ 3 学年必修選択B【A帯】(2 単位)

古典探究②、歴史総合②、音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②、書道Ⅲ②、
[家] フードデザイン②

◇ 3 学年必修選択B【B帯】(2 単位)

論理国語②、政治・経済②、[体] スポーツⅡ②

◇ 3 学年選択科目C (4～11 単位)

文学国語②、国語表現②、歴史総合②、倫理②、政治・経済②、数学Ⅲ②、
数学B②、数学C②、物理③、化学③・④、生物③、Zoology (理) ②、
創造表現 (芸) ②、論理・表現Ⅱ②、情報Ⅱ②、[家] フードデザイン②、
[家] 保育基礎②、[音] 器楽②

3 学年選択科目について

- ・必修選択Aにおいて、数学Ⅲを履修する場合は、選択科目Cの数学Ⅲとあわせて履修する。
- ・必修選択Bにおいて、物理または生物を履修する場合は、選択科目Cの同一科目とあわせて履修する。
- ・化学の履修については、2学年必修選択Aで化学③を履修した場合は、必修選択Bまたは選択科目Cの化学④を選択する。また、2学年必修選択Aで化学③を履修していない場合は、選択科目Cの化学③を必ず選択する。
- ・選択科目Cの下線の科目について、すでに必修選択で履修している場合は、選択できない。

(単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。)

<主な科目>

Zoology (2単位)

よこはま動物園ズーラシアと連携した学習を通して、動物園の歴史や構造、役割等について学ぶとともに、我々と関わりの深い動物についても取り扱いながら動物と人間について考え、研究発表等を通して社会に参画するための資質・能力を育成する。

創造表現 (2単位)

美術・工芸分野の幅広い創造的な学習活動を通して、個性を互いにかし、思いやりのある豊かな人間性を育むとともに、体験的な学習を通して醸成される豊かな感性や、新しい意味や価値を作り出す創造性を育成する。

スポーツⅡ (2単位)

球技への多様な関わり方の習得をめざした主体的、合理的、計画的な実践を通して自ら課題を発見し解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与することができる資質・能力を育成する。

(5) 学習指導の工夫

- 知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、基本的な内容から発展的な内容まで、生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた学力の向上を図る。
- 自らの進路実現や学習の目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、生徒一人ひとりの自己肯定感を高め、個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。
- ICT機器を活用し、「わかりやすい学び」から「深い学び」へと深化させるとともに、探究的な学びを通して自分の考えを的確に表現する力や他者と協働して課題を発見・解決する力を養う。

(6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動による様々な体験を通して、互いの個性を理解し尊重する、より良い人間関係の構築と自立をめざすための指導及び支援を行う。
- 生徒の状況を的確に把握し、多様な教育的ニーズに対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。
- 生徒と教職員との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を構築するとともに、教職員による生徒理解を深める。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、探究活動をはじめとする教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。
- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かな指導や、1学年より進路希望に対応した体験活動及びガイダンス機能の充実を図る等、支援体制を確立する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- これまで両校が取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 全日制課程における学年制普通科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 全日制課程における学年制普通科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256